

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】

作成: 7年6月19日

施策番号	施 策 名	シティプロモーションの推進	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
			政策名	魅力を活かした、活気あふれるまちづくり		
	主 管 課	魅力創造課	課長名	我妻 修一	内 線	242
	施策関係課	政策推進課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図		結果		
社会背景から生まれる町の課題を解決し、町の可能性の最大化を図るために、郷土愛(シビックプライド)を持った町民をはじめ、芽室を応援する気持ちを持った町外の人たち(濃い関係人口)を増やしていくことを目指します。			町民、町外の人(町を知った人、興味関心を持つ人、来られた人)	・この町のために何かをしたいと思う人を増やす ・この町の推進意欲、行動・活動への参加意欲、行動・活動する人への感謝意欲を高める	・住人の郷土愛が醸成される ・関係・交流人口による濃い関係人口が増える		
成果指標	説明	単位	策定期(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績
①芽室町の魅力を誰かにすすめたい推奨意欲	すまいるアンケート	%	28.2 (R3)	23.3	20.8		60.0
②芽室町をよりよくする活動への参加意欲	すまいるアンケート	%	19.7 (R3)	13.9	13.9		50.0
③芽室町をよりよくする活動している人への感謝意欲	すまいるアンケート	%	69.6 (R3)	60.4	65.5		90.0
④							
成果指標設定の考え方	①町民の半数以上が推奨することを目指して施策をすすめる。 ②町民の半数以上が参加意欲を持つことをを目指して施策をすすめる。 ③現在の数字に年5%上昇を目指して施策を進める						

2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	28,474	46,189	44,148		

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察									
①2024年度の成果評価(前年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した	想定される理由	・地域プランディング事業、まちなか再生事業、定住促進事業など、様々な取り組みを実施したが、住民意識の向上、指標による成果向上は、時間を要すると考える。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった								
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した								
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	・シティプロモーションの取り組みによる、住民意識の向上、指標による成果向上は、時間を要すると考えており、後期実施計画中の目標達成は難しいと考える。						
	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しく、 ② いかが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能								
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい								
(2)施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括									
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業							
③事務事業全体の振り返り(総括)	・地域プランディング事業でスイートコーンに関係する団体・組織・会社・生産者による会議体を設置したほか、生産者と企業のマッチング、コーン関連商品のPR、イベント出店などを実施した。 ・まちなか再生事業について、まちなかの空き物件等の流通促進のため、地域おこし協力隊を採用し、相談会の開催やマッチング事業を実施した。 ・定住促進事業で、助成制度を継続とともに、定住促進業務をNPO法人に委託し、相談窓口の設置、移住フェアへの参加やSNSを活用した芽室町のPR強化を図った。								
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)									
担当課評価	・地域プランディング事業など、関係人口・交流人口の増加のための取り組みを実施してきたが、指標や住民意識の向上には至っておらず、計画策定期と比較して変わらないと評価した。								
進捗結果									

A: 実現した
 B: (後期実施計画策定期と比較して) 大きく前進した
 C: (後期実施計画策定期と比較して) 前進した
 D: (後期実施計画策定期と比較して) 変わらない又は維持した
 E: (後期実施計画策定期と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な人口減少、首都圏への一極集中は今後も続くことが予想される。この状況下で、地域の独自の魅力や価値の明確化、他の地域との差別化を図っていかなくては、首都圏との格差、他地域との格差も広がっていく恐れがある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> シティプロモーションの取り組みの成果が見えない <ul style="list-style-type: none"> →シティプロモーションに取り組む目的、目指すべき姿、方向性をあらためて明確にし、庁舎内での共有(理事者～担当者までが同じ言葉で説明できる)を図るとともに、成果について数値化できるよう整理する。 まちなか再生事業の具体的なイメージがわからない <ul style="list-style-type: none"> →空き物件の効果的活用と拠点施設の検討を2本の柱とし、交流・憩い・チャレンジの場を創出、まちなかの賑わいを創る。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> 芽室町の人口減少率は、全国、全道平均と比較すると低いが、人口減少は着実に進んでいる。その結果、「税収の減、地域内消費の減、各分野・産業での担い手の不足、空き家・空き店舗の増、行政サービスの停滞」などが懸念される。これら課題を解決することや、芽室町のもつ可能性を最大化するため、地域プランディングを進める。さらに、空き家・空き店舗の解消、有効活用、まちなか再生などに取り組むことで、関係人口・交流人口の増加につなげ、最終的には移住・定住に結び付けていく。 シティプロモーションの取り組みについては、これまで同様、関係人口・交流人口の増加や移住定住を促進するアウタープランディングと、シビックプライドや郷土愛を醸成するインナープランディングを両輪として取り進める。今後においては特にインナープランディングに注力する。

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	府内評価同様に維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・具体的な施策と明確な目標をまとめることが必要。 ・今後はまったく興味・関心を持たない人をどれだけ巻き込むかを重視したコミュニケーションの事業が必要ではないかと思う。 ・町民意見のとおり、プロモーションは取り組みの成果が見えず、再生事業は具体的なイメージが沸かないといふ。他市町村との比較よりも、芽室町を「こうしたい」というイメージを町民と共有することが優先ではないか。	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					